

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士・フツ博士のかかどキッズ相談ててくら

国立市立国立第七小学校

平成29年4月12日 NO.4 (404)



花ちゃん 「あれあれ？校長室前の展示がリニューアルしましたね。」

オー君 「またまたおもしろそうなものがたくさんあるね。みんなで見にいこう。」

モンタ博士 「そうだね。みんなの理科や生活、それから総合学習のため、それから、地域の自然の様子が少ないでもわかればいいのか、何か参考になればと思ってるんだ。これからもいろいろと工夫していくから楽しみにね。」

花ちゃん 「いろいろな木の積み重ね遊びコーナーもありますね。」

オー君 「木って、いろいろな肌があるんですね。みんなよく見るとちがうですね。」

モンタ博士 「そうだね。木のおもちゃって、さわっていてとても気持ちいいもんだよね。木の感触を楽しみながら、たくさん遊んだり気付いてほしいね。」

花ちゃん 「ところで、その他にもたくさんありますね。」

オー君 「ビニル袋に入っているものは、全部名前が書いてありますね。」

モンタ博士 「そうだよ。三浦半島の葉山にある『しおさい博物館』の職員で、貝の専門家でもある倉持先生という人に1つ1つ教えてもらったもんだ。正しい名前が書いてあるから見てごらん。どんな名前の貝があるか、とても勉強になると思うよ。」

花ちゃん 「それから、『お1人様1つずつどうぞ！』というケースもありますね。」



オー君 「もらってもいいということですか。」

モンタ博士 「もちろんだよ。上の写真にもあるように、モンタ博士とフッタ博士で春休みに、三浦半島にある葉山の一色海岸というところで、拾ってきたんだよ。」

フッタ博士 「それから、ビーチコーミングという言葉がありますが、海辺では貝の他にカイメンや海藻や漂流物などを拾い集めるのも、ブームになっているそうなんだよ。」

花ちゃん 「なるほど、そういうことですか。ますます興味や関心が増えますね。」

オー君 「ところで、海ではどんな名前の貝が見つけれられたんですか。」

モンタ博士 「さすが、よいことを聞いてくれるね。オー君。ありがとう。それでは、下の□にまとめたので、図鑑などでもぜひ見てください。」

アカニシ、アマオブネ、アマガイ、アワブネ、アワムシロ、イトマキレイシダマシ、イボウミニナイボキサゴ、イボニシ、イボフトコロガイ、イワガキ、ウズイチモンジ、ウチヤマタマツバキ、ウノアシ、ウミニナ、オミナエシダカラ、カコボラ、カニモリガイ、キクスズメ、キサゴ、キリガイダマシ、クチベニガイ、クボガイ、クリフレイシガイ、クロアワビ、クロダカラ、コシダカガンガラ、コシダカサザエ、コロモガイ、サザエ、シイノミツクシ、シマメイウフネガイ、スズメガイダンベイキサゴ、チャイロキヌタ、チリボタン、ツメタガイ、トコブシ、パイ、バカガイ、ハツユキダカラ、バテイラ、ハナマルユキダカラ、ヒメアサリ、ヒメヨウラク、フデシヤジク、フロガイヘソアキクボガイ、ヘナタリ、ハウシュウノタマ、ホソヤツメタガイ、ホタルガイ、マガキ、マツバガイ、マツムシ、ムシエビ、ムラサキガイ、メダカラ、ヤタテガイ、レイシ（50音順）

オー君 「うわあー！すごーい。とてもたくさんの種類があったんですね。すごいな。あれあれ？校長室前には、トウキョウサンショウウオの卵もありますね。」

フッタ博士 「これは、モンタ博士がおうちの近くで探してきたものなんです。詳しくは、そのうち、ていねいに説明してあげよう。」